

深川東京モダン館だより

fukagawa tokyo modankan news
fukagawa tokyo modankan news

共催 **圓橘の会** 12月18日(土) 15:00～ (開場14:30) 三遊亭圓橘 萬丸

したんろうふるき
狂歌噺「紫檀楼古木」/太宰治 新釈諸国噺より「貧の意地」

新春圓橘一門会 1月2日(日)・3日(月) 16:00～ (開場15:30)

両日とも 圓橘 萬橘 朝橘 萬丸



圓橘の会・一門会ともに 各日予約2,500円 当日2,800円

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

2021年12月・2022年1月のカレンダー

その他の催し物の詳細は
2・4面をご覧ください

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6 休館日	7	8	9 キッチン 松ぼっくり 営業日	10	11	12
13 休館日	14 おきがる講座	15 16	16	17 おきがる講座	18 圓橘の会	19
20 休館日	21 噺+話	22	23	24 	25	26
27 臨時休館日	28 臨時休館日	29 臨時休館日	30 臨時休館日	31 臨時休館日	2022年 1 臨時休館日	2 新春落語会
3 新春落語会	4	5	6	7	8	9
10	11 休館日	12	13 キッチン 松ぼっくり 営業日	14 	15 (~16) 仙台・秋保×深川	16
17 休館日	18 	19	20	21	22	23
24 休館日 31	25 噺+話	26	27	28 おきがる講座	29 講談会	30

開館時間 10:00-18:00 (金・土曜日は19時まで)

2021年12月・2022年1月の催し

主催 おきがる講座 各日程 ①13:00~14:30 ②15:00~16:30

12月14日(火) 渋沢栄一ゆかりの人々2 星野錫^{しゃく}と印刷業 ※12月7日(火) 10時から電話で受付開始

12月17日(金) 渋沢栄一ゆかりの人々11 蜂須賀茂詔^{もちあき} ※12月7日(火) 10時から電話で受付開始

1月28日(金) 渋沢栄一ゆかりの人々12 渋沢敬三 ※1月15日(土) 10時から電話で受付開始

受講料:各500円(コーヒーまたは紅茶つき) 定員:各20名(要予約) 講師:龍澤 潤(深川東京モダン館)

共催 噺 + 話 各日程 14:00~16:00 (開場13:30)

おきがる講座と落語会モダン亭のコラボ



12月21日(火) 林家あんこ「化物使い」 ※12月7日(火) 10時から電話で受付開始

1月25日(火) 柳家小志ん「居残り佐平次」 ※1月15日(土) 10時から電話で受付開始

それぞれ 龍澤潤による「演題にちなんだ話」があります

予約・当日 1,500円(ドリンク代込) 定員 20名に達し次第受付終了

共催

後援:一般社団法人日本講談普及協会・日本講談協会

第29回 モダン講談会 1月29日(土)14:30~ (開場14:00)

新春おめでた講談特集!! 神田陽子 神田紫 神田桜子 他

予約・当日 一般:3,000円 小~高校生:1,500円

定員 50名に達し次第受付終了 ※1月15日(土) 10時から電話で受付開始

共催 仙台・秋保 × 深川 2022

※紙で発行したものではありません。また二日目終了時間も16時となっております。訂正してお詫びいたします。

1月15日(土) 10:00~18:00・16日(日) 10:00~15:00

仙台・秋保温泉郷の魅力を紹介するパネル展、工芸品やおはぎほか販売

※当館の催し物のご予約は 10時から お電話 03-5639-1776 まで

2月の催し物ご予約情報

おきがる講座 2月8日(火) ①13:00~14:30 ②15:00~16:30

渋沢栄一ゆかりの人々3 伊藤松宇 ※1月25日(火) 10時から電話で受付開始

受講料:各500円(コーヒーまたは紅茶つき) 定員:各20名(要予約) 講師:龍澤 潤(深川東京モダン館)

●お客様へのお願い

- 次に該当するお客様のご来場は、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
37.5度以上の発熱があるお客様 咳、喉の痛み等の症状があるお客様
過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴があるお客様
- マスクを着用でないお客様のご入場はご遠慮いただきます。咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 手洗いと手指消毒にご協力をお願いいたします。
- 催し物にご参加されるお客様には、氏名・連絡先等を確認させていただく場合がございます。

もう一つの相生橋 ・・・橋のある風景



在りし日の豊島橋

私が育った深川1丁目は、かつては北、南、西の三方が運河に囲まれていて、どこへ行くにも橋を渡らなければなりませんでしたが、現在残っているのは北にある仙台堀川にかかる「海辺橋」だけとなってしまいました。

西にあったのは小さな亀堀に架かっていた「相生橋」。私にとっての「相生橋」といえば、越中島と佃・月島を結ぶあの立派な橋ではなく、家のそばにあった小さな橋でした。『本所深川絵図』(1852)にも載っている江戸時代からあった橋で、『御府内備考(1826)』にも「万年町の西より長堀町へ通る橋なり」と記載されています。近くには松平和泉守の下屋敷が広がっていましたので、町家と武家屋敷の人々が行き交った橋だったのでしょう。廃橋になった時期ははっきりしませんが、亀堀が埋め立てられて公園になったのが昭和54年ですからその頃には普通の道路になってしまったと思われます。「相生橋」は、深川から福住町、佐賀町へ向かう橋でした。

南へ向かうと門前仲町へと通じる「富岡橋」がありました。今でも親柱が残っています。幅広い

油堀にかかっていた大きい橋で、橋の上は風が吹き渡り、雨や雪の時は風の強さを感じたものです。もちろん、江戸時代に架けられた橋で、歌舞伎『梅雨小袖昔八丈(髪結新三)』に登場する「閻魔堂橋」は富岡橋のことで、『御府内備考』にも里俗銘として閻魔橋と書かれています。昭和52年には油堀が埋め立てられましたので、富岡橋も無くなりました。

北側には今でも仙台堀川に架かる「海辺橋」。江戸時代から現在に至る橋で、今では春には仙台堀川を彩る桜を愛でるポイントとなっています。「海辺」の名は、この辺りが海辺新田と言われていたことに因みます(御府内備考)。架橋は、元禄末期、仙台堀川が拡張された時期と言われており、芭蕉がおくのほそ道に旅立った頃にはまだ架けられていなかったと思われます。何気ない小さな橋ですが、江戸時代から今まで、私の生きた日々も含めて、時代を眺めてきた橋だと思うと感慨深いものがあります。

他にも、江戸時代からあった豊島橋が平成29年(2017)に撤去され、今は「橋の記憶」としてモニュメントが残るばかりです。こうして橋のある風景が少しずつ消えて行き、ちょっぴり寂しい深川です。



60年前の相生橋



(文と写真 江東区文化観光ガイド 守 幸子)

深川東京モダン館では江東区文化観光ガイドによる館内のご案内(10時~16時)およびご希望によりモダン館周辺のまちあるきツアー(1時間程度、11時・14時出発)を行っています。※新型コロナウイルス感染状況によって中止になる場合があります。※諸事情によりガイド不在の場合もあります。

給食の懐かしい味!

キッチン 松ぼっくり



12月9日(木) 11:45~14:00

サンドイッチ 2種

エビ・卵サンド / 野菜・ベーコンサンド
白菜スープ / かぼちゃのミルク煮



12月



1月

1月13日(木) 11:45~14:00

七草風ご飯

松風焼き / あんだれ
れんこんの炒めもの / なます

各 700 円

サイドメニュー 揚げパンは +50円

※完売次第、閉店いたします ※ご予約はできません

ガイドブック・お土産品

深川東京モダン館1階では、まちあるきに役立つガイドブックや江東区の文化財ガイドなどを販売しています。

- ・『江東区の文化財』各地域
- ・江東区観光キャラクター コトミちゃんグッズ各種 (ぬいぐるみ、缶バッジ、マフラータオル ほか)
- ・江東区の名所を描いた絵はがき(水彩・切絵・写真など)
- ・ビニール製マスクケース
- ・もくレース
- ・深川めしの素
- ・ちくま味噌 甘酒
- ・コースター
- ・ゲイシャコーヒー
- ・Tシャツ等



ちくま味噌
元禄浪土あま酒

360円

百圓珈琲

1F カウンターでは 100 円のコーヒーをご提供しております。ホットコーヒー「小樽」「ベイキャメル」そして「モダン館ブレンド」(しっかり・すっきり)の4種類をご用意しております。

まちあるきの休憩時や会社のお昼休み中の一服にどうぞ。



開館日および開館時間

10:00-18:00 (金・土曜日は19:00まで)

休館日:月曜日

(月曜日が祝日の場合、翌火曜日が休館となります)

※臨時休館:年末年始(12月27日~1月1日)



Schlumbergera truncata

「深川東京モダン館だより」第105号(2021年11月26日)

発行 (一社)江東区観光協会 深川東京モダン館

〒135-0048 東京都江東区門前仲町1-19-15

TEL 03-5639-1776 FAX 03-5620-1632

Mail info@fukagawatokyo.com

ホームページ www.fukagawatokyo.com

